

## 宇宙開発の現状報告

(平成 18 年 12 月 5 日(火) ~ 平成 18 年 12 月 12 日(火))

平成 18 年 12 月 13 日  
宇宙開発委員会事務局

### 宇宙開発に関する国内の動向

12 月 7 日(木)

- 宇宙航空研究開発機構総合技術研究本部・航空プログラムグループ、早稲田大学理工学術院との間で研究協力協定を締結  
【独立行政法人宇宙航空研究開発機構、早稲田大学理工学術院】

宇宙航空研究開発機構(JAXA)総合技術研究本部・航空プログラムグループと学校法人早稲田大学理工学術院は、これまで航空機用のエンジンや人工衛星の設計、新素材等の技術分野で行ってきた両者の連携協力を更に拡大していくとともに、新たな協力分野の出現を目指し、宇宙及び航空科学技術分野における研究交流や人材育成で幅広く連携するよう、包括的な協力協定を締結した。

### 宇宙開発に関する海外の動向

12 月 5 日(火)

- 第 13 回アジア太平洋地域宇宙機関会議(APRSAF-13)、ジャ

カルタにて開催

【日、尼等18カ国】

12 月 5 日(火) ~ 7 日(木)にかけて、第 13 回アジア太平洋地域宇宙機関会議(APRSAF-13)がジャカルタにおいて開催された(日本側総合議長は松尾宇宙開発委員長代理)。本会議には 18 カ国 55 機関及び 8 国際機関より約 150 名の参加があり、遠藤文部科学大臣が基調講演をされた他、「アジア防災・危機管理システム(センチネル・アジアプロジェクト)」等について活発な議論がなされ、環境分野での協力可能性を検討する等の内容を盛り込んだ勧告文が採択された。

- NASA、探査計画戦略を発表【米】

米国航空宇宙局(NASA)は、12 月 4 日(月)(現地時間)、月探査の理由と月面での活動内容を含んでいる、探査計画戦略「Global Exploration Strategy」を発表した。

12 月 6 日(水)

- ISRO、月周回衛星の打ち上げを 2008 年初頭に実施へ 【印】  
12 月 5 日(火)(現地時間)、インド宇宙研究機関(ISRO)のナイル総裁は、インドの月周回衛星「Chandrayaan-1」は、2008 年初頭に PSLV ロケットでサティッシュ・ダワン宇宙センター(SDSC)から打ち上げられる予定であると述べた。同衛星は 5 日間かけて月周回軌道付近に到着し、月面の詳細データを 2 年間かけて取得する予定。

12 月 8 日(金)

- 長征 3A、静止気象衛星の打ち上げに成功 【中】  
中国は 12 月 8 日 0 時 53 分(世界標準時)、西昌衛星発射セ

ンターから長征 3A ロケットを打ち上げ、中国気象局の静止気象衛星「風雲 2D (FY-2D)」の軌道導入に成功した。打ち上げ時の重量は約 1.39 t。本衛星は 2004 年 10 月に打ち上げられた静止気象衛星「風雲 2C (FY-2C)」と共に、災害監視、気象観測を行い、災害時の早期警報システムの能力強化を図る。

- アリアン 5ECA、通信衛星二機の同時打ち上げに成功【欧、米】  
アリアンスペース社は 12 月 8 日 22 時 8 分(世界標準時)、ギアナ宇宙センターからアリアン 5ECA ロケットを打ち上げ、米ワールドブルー社のインターネット通信衛星「ワイルドブルー1 (WildBlue-1)」(打上げ時の重量(以下同じ。)は約 4.7 t)、及び SES アメリコム社の通信衛星「AMC-18」(約 2.1 t)の静止軌道導入に成功した。

12 月 10 日(日)

- NASA、スペースシャトル「ディスカバリー号」(STS-116)の打上げに成功 【米】  
米国航空宇宙局(NASA)は、12 月 10 日(日)10 時 47 分(日本時間、以下同じ)、スペースシャトル「ディスカバリー号」(STS-116/国際宇宙ステーション組立ミッション(12A.1))を打上げ、12 日(火)には、国際宇宙ステーション(ISS)とのドッキングに成功した。帰還は、22 日(金)5 時 36 分の予定。